

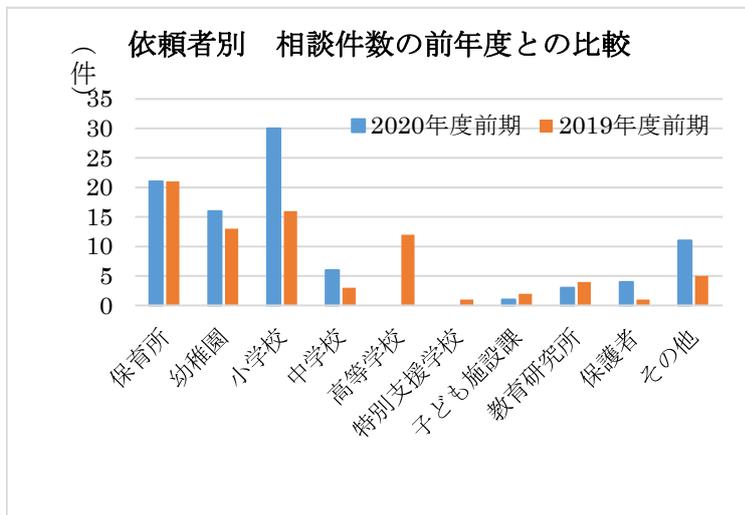


今回は、令和2年度の校外支援の実施状況についてお知らせします。本校，センター的機能における校外支援の実施件数は204件でした。昨年度は，166件でした。以下に，依頼者と依頼内容をお知らせします。

1. 依頼者別の相談件数

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	子ども施設課	教育研究所	保護者	その他
件数(件)	30	32	101	5	0	0	3	7	6	15
割合(%)	15	16	50	10	0	0	1	3	3	7

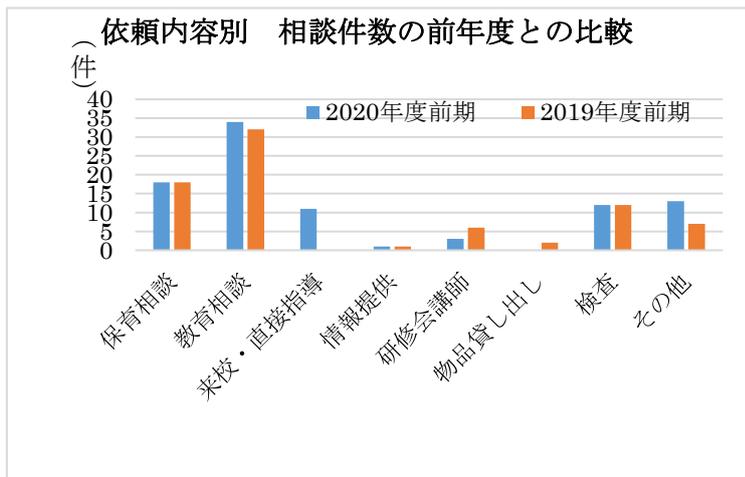
割合は，小数点以下を四捨五入しています。



2. 依頼内容別の相談件数

	保育相談	教育相談	来校・直接指導	情報提供	研修会講師	物品貸出し	発達検査	その他
件数(件)	27	104	15	2	3	2	31	20
割合(%)	13	52	7	1	1	1	15	10

割合は，小数点以下を四捨五入しています。



今年度は，新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業の影響で，4月・5月の相談依頼はありませんでしたが，2020年度の校外支援の実施件数は，前年より大幅に伸びました。

依頼者別の相談件数では，小学校の割合が高く昨年度より増加しました。従来から学習の高度化，抽象化が進む3年生の相談がもっとも多いのですが，今年度は1年生の相談依頼が増えました。臨時休業の影響で，学習や学校生活に対する支援が必要な児童の増加が要因だと思います。

本校のセンター的機能の特色として，幼児児童生徒の来校や相談員の訪問による直接的な指導を行う体制を構築していることが挙げられます。今年度は，7名（のべ22回）の児童生徒に対して放課後を利用した教育課程外での個別指導（通級的な指導）を実施しました。具体的には，注意集中や感情コントロール，対人関係の構築など集団生活を送るうえでの困難さがある児童生徒に対して，アセスメント結果に基づきソーシャルスキルトレーニングを行いました。既に次年度に向けて指導継続や新規の通級希望があり，地域の学校園の教育的ニーズが高いことから，教材・教具の準備や学習環境の整備に引き続き取り組む必要性を感じています。

今年度は，新型コロナウイルス感染拡大の影響で，校内研修等の講師依頼が減少しましたが，校外支援に際しては，教材や指導法に関する情報提供に努めました。今後も，積極的に特別支援教育に関する情報を発信すると共に，効果的な研修の在り方について，検討を行っていきたいと考えています。